



Facebookでも
情報発信中!

図書館だより

平成27年1月1日
塩尻市立図書館発行
(図書館だより66号)



あけましておめでとうございます。

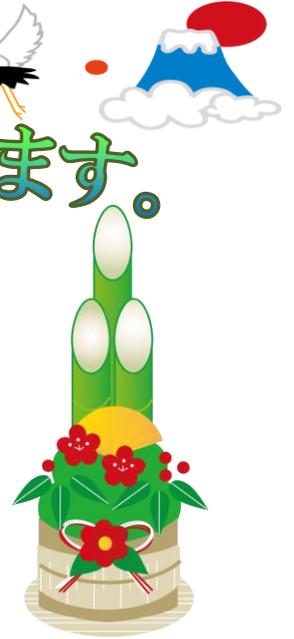
日頃より塩尻市立図書館をご利用いただきありがとうございます。

本年も「信州しおじり 本の寺子屋」や貴重な資料を展示する「展示コーナー」など、様々な企画やサービスをご用意しております。

地域の方々の実生活に役立つ図書館を目指し、よりよいサービス、資料、情報を提供できるよう、努めてまいります。

2015年もなにとぞよろしくお願いいたします。

図書館職員一同



図書館活用のポイント その4

展示コーナーができるまで

1階月のコート横の展示コーナーや、森のコート吹き抜け、太陽のコートなどで行う「企画展示」。これは毎回様々な方のご協力をいただいて展示しています。その様子をちょっとご紹介いたします。

【1. 企画】

どんな展示を行うか考えます。
季節や行事も考慮します。



【2. 交渉】

展示物をお持ちの個人・団体に交渉します。



【3. 展示打ち合わせ】

展示物の持ち主と、どう展示するか、打ち合わせます



【4. 解説などの作成】

展示計画に合わせて、解説を作ります。



【5. 搬入】

展示物をえんぱーくに運びます。



【6. 展示】

展示物などを並べます。持ち主が立ち会うこともあります。



あがり

こうして皆様に展示を見ていただきます。



今月の展示の様子です。

今月1月は 4日～26日まで「本の寺子屋」企画展
「堀口大學にみる装丁・挿絵展」を展示いたします。

堀口大學の個人コレクターである山村光久様のご協力により、貴重なコレクションの一部を展示しております。堀口の文学とともに当時の愛書家を魅了した、美しい本のかずかず。装丁(豪華本)、訳詩、作詩、版画の4つの視点で作品を選びました。堀口大學の魅力をぜひご覧ください。

疑問がわいたら図書館へ。 お役に立ちます“レファレンス”

第1回

皆様は「レファレンス」という言葉をご存じでしょうか？

一言で言えば、利用される皆様の「調べもののお手伝い」のこと。簡単なものは「〇〇という本はどこ？」から、調査に何日か要するテーマまで、多種多様なご質問を受けます。お役に立つのもっとご活用いただきたいサービスです。そこで図書館だよりで「レファレンス」の例をご紹介します。

Q 質問：三九郎について小学4年生の子供にも分かる資料がほしい。「三九郎」の名前の由来も知りたい。

実はこう調べました：小学生向けということで、児童コーナーの民俗関係の棚を探したところ、「どんど焼き」が載った本を見つけました。しかし名前の由来については、児童書に「左義長」「どんど焼き」の説明はありましたが、「三九郎」は見つかりませんでした。次に、一般書の郷土資料をあたって見て、ようやく名前の由来が書かれている本を見つけました。

A 回答：三九郎は、小正月に、正月飾りなどを燃やす行事のこと。この火でだんごやもちをあぶって食べると、病気にならないといわれる。[資料1] また、書き初めを燃やして高く上がると字が上手になるともいわれ、他にも、煙によって年神様が天に帰るともいわれている。[資料2]
「三九郎」の由来は諸説あり、「小正月の火祭りをはじめとする道祖神祭りを司祭した神官」[資料3]というのが一般的な説だが、他にも、「三九郎」人形を飾りにしたことから、「凶作・重税・疾病の三つの苦労」という説などがある。[資料3,4]

[資料1] 『心をそだてる子ども歳時記 12 か月』, 橋本裕之 監修, 講談社, 2005. p.15

[資料2] 『絵でわかる社会科事典 4 (年中行事*祭り)』 鎌田和宏 監修, 学研教育出版, 2013. p.22-23

[資料3] 『松本の三九郎 夜空をこがす火の祈り』 (年中行事基礎調査報告書), 日本民俗資料館, 1988. (資料:No.9) p.7-11

[資料4] 『塩尻市誌：歴史 第2巻』 塩尻市誌編纂委員会/編, 塩尻市誌編纂委員会. 塩尻市, 1995. p.978

聞きたいテーマがありましたら、ぜひお気軽に図書館のカウンターへお声掛けください。

図書館職員 日々のあれこれ。

塩尻東分館には、絵本に囲まれたくつろげるカーペットスペースがあり、小さなお子さんから大人の方までゆっくり本を選べるとご好評をいただいています。お子さんを見守りながらご自分の本を選ぶ子育て中の方や椅子に座ってじっくり吟味される方、分館内をゆっくり一周して選ばれる方もいらっしゃいます。多くの皆さんに喜んでいただけるよう、本との出会いのお手伝いのできたらと思っています。

2月には大人のためのおはなし会を計画しています。お子さんだけではなく、大人の方にも楽しんでいただける行事を準備してお待ちしています。

暖かい室内で過ごすことの多いこの時期。お好みの本を探しにいらっしゃいませんか。(塩尻東分館 興水)

編集後記

「信州しおじり本の寺子屋」を始めとするイベントは、早くも来年の計画が大詰めを迎えています。各界でご活躍の方々が一地方都市まで足をお運びくださるのは「出版文化の未来に寄与する」という寺子屋の趣旨にご賛同いただいたため。なかなかお願いできない方にもお越しいただき、本当にありがたく思います。時に「えんぱーくでは狭い」とのお声もあるのは心苦しいのですが、当館で開催するのはこういった理由もございます。

来年度も様々な企画をどうぞお楽しみに！



1月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1●	2●
3●	4●	5●	6	7	8	9
10	11●	12●	13	14	15	16
17	18●	19●	20	21	22	23
24	25●	26●	27	28	29	30
31						

□ …本館休館日 ● …分館休館日
○ …祝日開館

1月の本館休館日は、
1～3日、7日、14日、21日、26日、28日です。

編集・発行 塩尻市立図書館
〒399-0736 塩尻市大門一番町1 2番2号
電話 (0263) 53-3365 FAX (0263) 53-3369
<http://www.library-shiojiri.jp/>